

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



開花を待ち焦がれていた桜も、
一瞬の華やぎの時を過ぎ、早く
も葉桜の頃となりました。

花吹雪、花筏、花曇り・・・等
桜にまつわることばは、どれも

風情があり、多くの人たちが桜を好きな理由がわかりますね。

皆さんもお花見を楽しまれたことでしょう。



さて、春は始まりの時でもあります。

学校、会社や官公庁では、新学期・新年度と何かと慌ただしい
時期ですが、気持ちを新たにスタートしましょう。

勉強や仕事への取り組み、そしてたくさんの人との出会いにも
心弾みます。

希望に満ちた日々になりますように！

季節の変わり目は体調を崩しがちですが、お体を大切に、
素敵な春を楽しんでくださいね。



建築のいろはにほへと・・・？

【地盤調査って？】

地盤が軟弱だと、地盤沈下や不同沈下などによって家が
傾いたり、構造がゆがんでしまったりします。

盛土を行った造成地や海・川・湖沼などを埋め立てた土
地では地盤が弱いことが多く、特に注意が必要です。

また、地下水位が高い場所では地震発生時に液状化を起
こす恐れや、地割れ・地滑りを起こす危険性も高くなり
ます。

土地の状況や歴史は、表面的に見ただけでは判断できま
せんので注意が必要です。

近隣に住む人に聞いてみるのも一策です。

地盤調査は、建築計画の前に専門業者に依頼しますが、
その方法は主に二通りあります。

【表面波探査法】

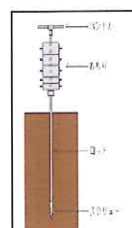
起振器で人工的に振動を発生させ、振動が伝わる速
さを測定、分析して地盤の強弱を判断する方法。

【スウェーデン式サウンディング試験】

スクリーポイントが付けられた鉄棒を、地面に垂
直に立ててねじ込む方法。

段階的におもりで荷重をかけていき、
その荷重と回転数を測定します。

※一般的には、こちらの方法が
とられます。



大切なお住まいです。

安心して長く住むために、購入前にその土地の状態を
調査し、建築計画を立てる前に、必要に応じた適切な
対応を行うことが大事です。

「4月23日は、サンジョルディーの日」

最近では書店などのキャンペーンで少しは知られるよう
になった「サンジョルディーの日」。

バレンタインと違って、まだまだ知名度は低いようで
すが、元々はスペイン・カタロニア地方のお祭りで、あ
ちらではバレンタインのようなものです。

悪魔の生贄になるはずだった王女を救った聖人・サン
ジョルディーの命日に、男性が愛する女性に花を贈って
気持ちを伝え、一方、女性からは男性に本を贈ります。

日本でも、この習慣を定着させようと目をつけたわけ
です。



男性からは赤いバラを、女性からは最近話題
の本、あるいは写真集や画集を
贈るのもお洒落ですね。



カップルの間だけでなく、日頃お世話になっている先輩
や友人にもお礼の気持ちをこめて、ちょっとした花束や
本を贈ってみては如何でしょうか？

素晴らしい上司との巡り合い

この春、70 万人以上の人新しい仕事に就きました。
今年の社員のタイプは【ドローン型】と言われ、先ずはやりがいのある目的地に着地し、安定性（終身雇用など）を求める傾向にあるとされていますが、果たして？



慣れない環境では不安が伴いますが、先輩や仲間との素敵な出会いで大きく成長してくださいね。

さて今回は、素晴らしい上司に巡り合えた男性社員の体験をご紹介します。

私が入社 4 年目で初めての結婚記念日を迎えた日のこと、社内でトラブルが発生してしまいました。

このままだと全員が会社に泊まり込むことになるかもしれないという修羅場に。
なので、私だけ結婚記念日なので早く帰らせて下さい、とは絶対言えない状況に・・・。

そして 17 時を回った頃、課長が私を呼びつけ、封筒を渡し、「これを S 物産に届けなさい」との指示。

S 物産は隣の県にある得意先で、今から車を走らせても 20 時までに着けるかどうか分からない。
いろいろなことが頭の中を駆け巡り、どうしたものかと悩んでいると、「届けたら直帰していいから」。

とは言われても直帰も何も S 物産に届けて家に戻ったらきっと 23 時は過ぎるだろうという時刻。
断りたかったけれど、「分かりました」と言って、しぶしぶ封筒を預かりました。

中身を確認しようとする、「中身は車の中で見ろ。いいからさっさと行け！」とつれない言葉。
不満たらたら声で「行ってきます」と言い残し、課内の同情の目に送られ、駐車場へ向かいました。

車に乗り込み、預かった封筒を開けてみると、一枚の小さな紙切れが入っていました。

「結婚記念日おめでとう。今日はこのまま帰りなさい」と書かれた課長のメモ。

想像しなかった課長の優しい気づかいに思わず涙が。

会社に入って初めて泣いた瞬間です。



その翌年、課長は実家の家業を継ぐために残念ながら退社されることになりました。

送別会の席で、どうしてもその時の気持ちを伝えたくてお礼を言ったら、「そんなことあったか？」と、とぼけていました。

課長、あの時は有難うございました。
今もお元気でいらっしゃいますか？



如何でしたか？

良い話ですね。

仕事はもちろん大事ですが、素敵な人との出会いは自分の宝となります。
お金では買えない大切なものをたくさんたくさん手に入れてくださいね。



「編集後記」

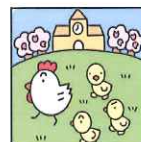
今年もきれいな姿を見せてくれた桜。
海外からも多くの観光客が日本を訪れ、お花見を楽しんだようですが、ごく一部の人たちのマナーの悪さがっかりというニュースも目にしました。
ほんの少しの心遣いで、もっと楽しいものになるはずが残念です。
学校でも職場でも同じこと。
お互いの思いやりでその場の雰囲気は全く違ってきます。
新社会人になられた皆さんも、仕事と同時に人間関係もしっかり学んでくださいね。ご活躍をお祈りいたします。

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。



編集責任者

渡辺 田鶴子